

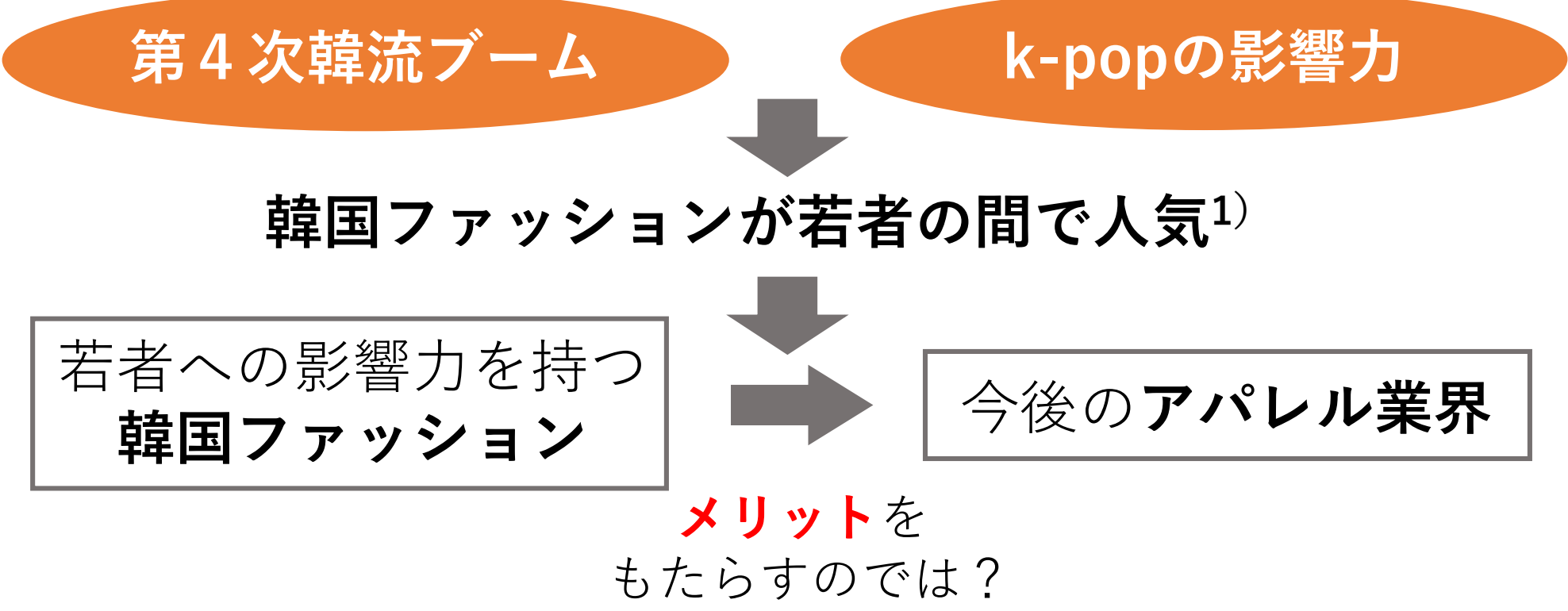
女子学生の衣服の購買行動と着装行動

—韓国への興味の有無とその影響力について—

1934079 山田 冬華

1. 研究の目的と背景

日本国内において韓国が好きでない人とそうでない人の衣服の購買行動や着装行動がどのように異なるのか



1) HereNow: 「9割が『推しの生き方に影響される』。熱いK-POPファンダムを大調査」, https://www.herenow.city/seoul/article/2021_k-pop_research/, 最終アクセス日2022.7.10

2. 方法

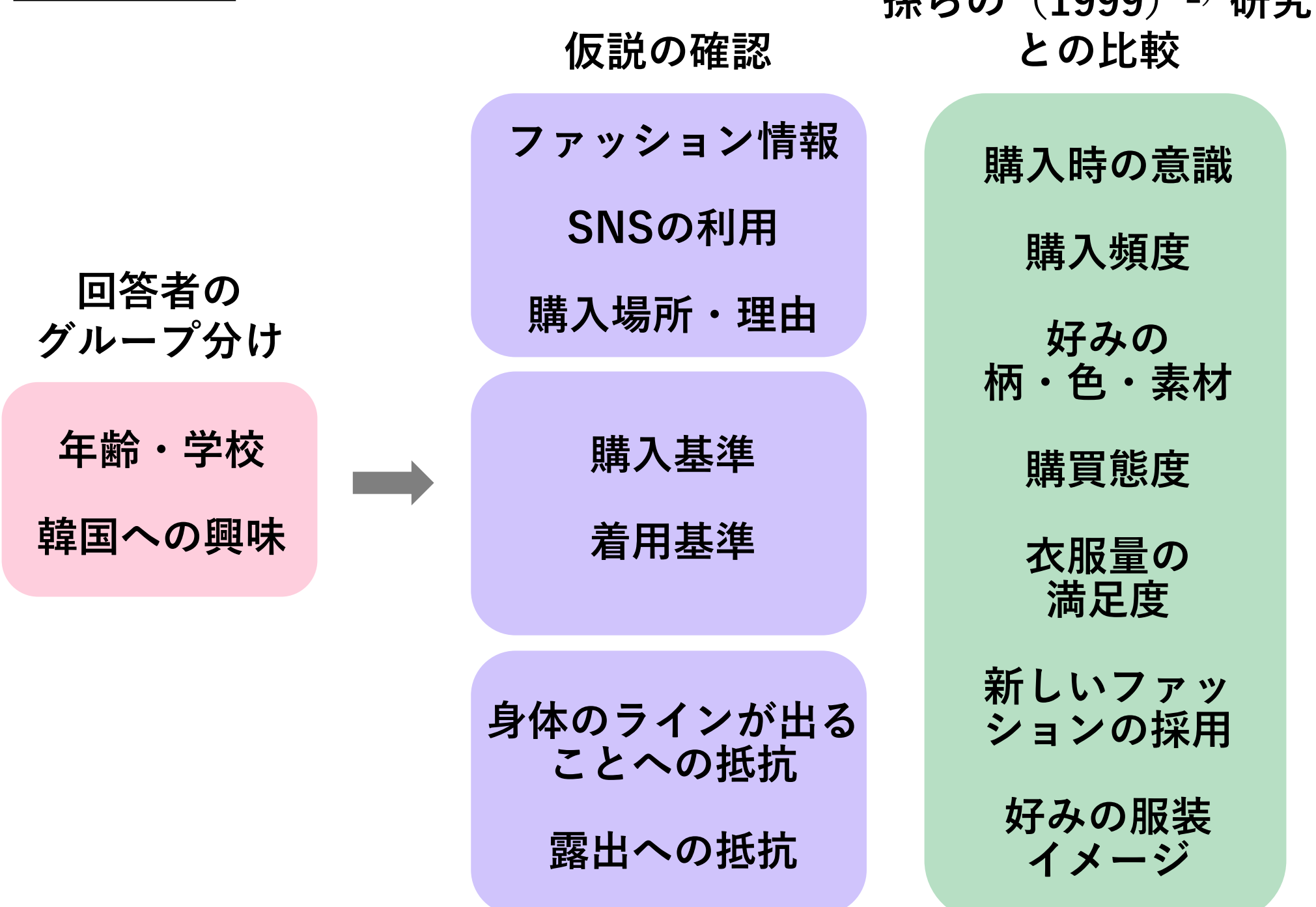
仮説の設定

- 仮説1.** 服を購入する際にインターネットを利用する機会が多いのではないか。
- 仮説2.** ファッションにおいて着心地などよりも、形や装飾などのデザイン性を特に重視する傾向があるのではないか。
- 仮説3.** 体のラインの出る服装や露出のある服装に対して抵抗がなく、好んで着用する傾向があるのではないか。

アンケート調査

調査時期：2022年 9月
対象者：女子高生87名、18歳を超える女子学生128名

調査項目



2) 孫珠熙, 安玉姫, 鄭容熙, 中川甲直 (1999) : 韓日女子学生の体型意識と衣服の購買・着装行動について (第2報) —韓日女子学生の衣服の購買行動と着装行動について—, ファッションビジネス学会論文誌, 5, 9-17

分析方法

- 単純集計:** 質問ごとの全体の回答の割合を明確に求める。
- クロス集計:** 回答者タイプごとに集計を行う。
- カイ二乗検定:** 2つのカテゴリ変数の関連について調べ、事前に立てた仮説の検定を行う。
- 因子分析:** 好きな服装イメージに影響を与えている因子(原因)を探る。

4. 結論

仮説2

身体ラインの出る服装についてのみ

成り立った

しかし 高校生・大学生別の比較の方がより関連が強い

仮説3

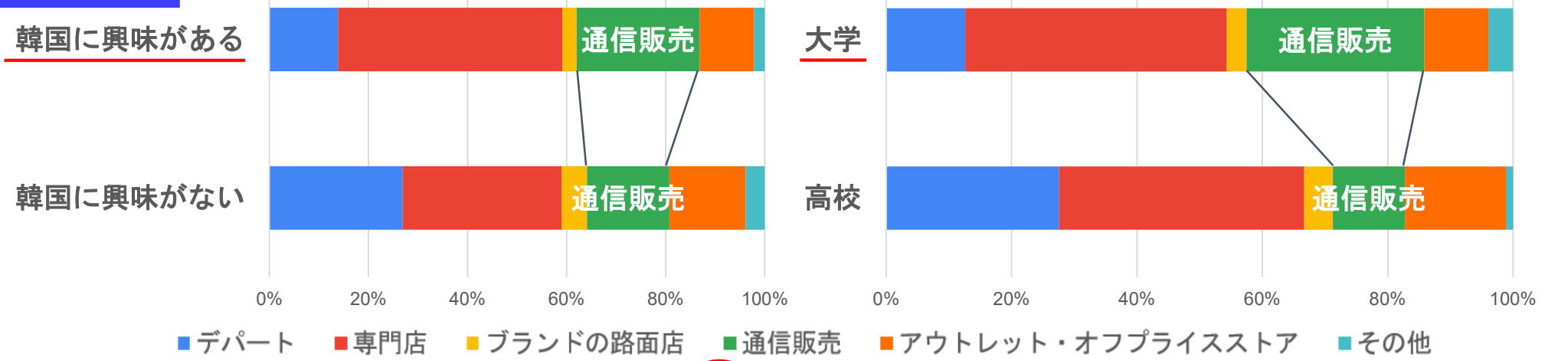
露出のある服装についてのみ

成り立たなかった

しかし 高校生・大学生別の比較では関連があった

3. 仮説の検証

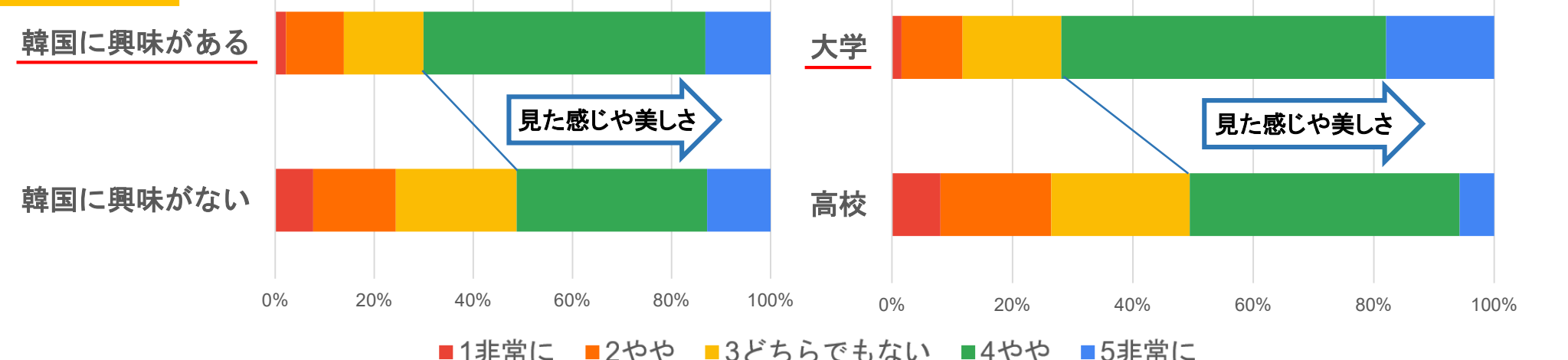
仮説1



韓国に興味があるのは 高校生 < 大学生
検定結果：高校生・大学生別の比較のみ5%水準で有意
→ 高校生・大学生別の比較・・・関連がある

大学生 → クレジットカードを持ち始める人が(増) → 通信販売の利用率(増)

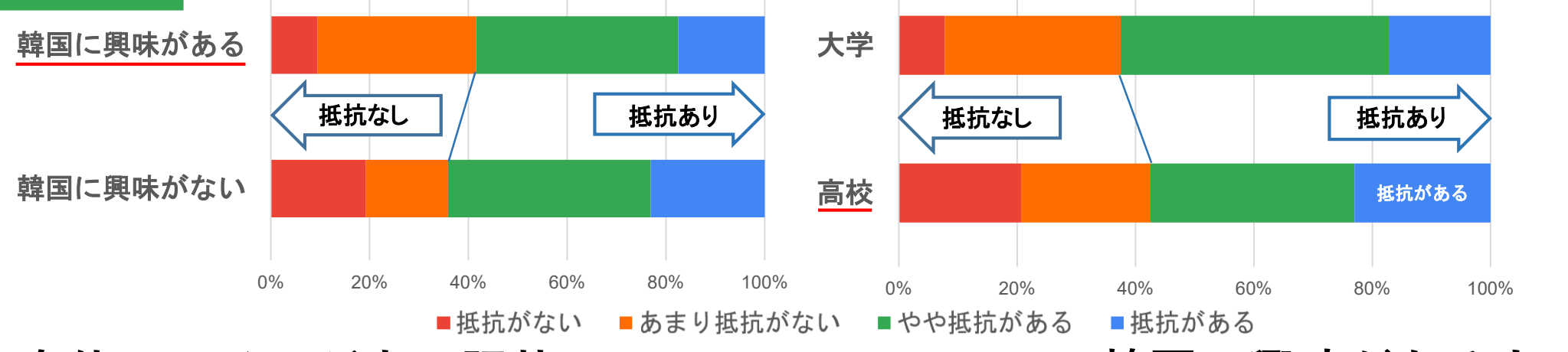
仮説2



着心地や動きやすさを重視して買う(多) → 韓国に興味がある人・大学生
検定結果：どちらも5%水準で有意
→ 高校生・大学生別の比較・・・やや関連が強い

大学生 → 韓国に興味がある(多) → 仮説が成り立つ
ファッションに興味がある(多)

仮説3



身体ラインの出る服装、露出のある服装に抵抗がない人(多) → 韓国に興味がある人、高校生
高校生 → 「抵抗がある」と回答した人の割合も(多)

検定結果：身体ライン → どちらも5%水準で有意
露出 → 高校生・大学生別の比較のみ5%水準で有意
→ 高校生・大学生別の比較・・・身体ライン：やや関連が強い、露出：関連がある

高校生の体型意識が関係している？

痩身願望が大きい女子学生ほど概して外見を気にする傾向が強い³⁾と自己肯定感・自尊感情との間には明瞭な相関関係が認められた³⁾

自己肯定感や自尊感情 → 高い → 抵抗がない → 高校生のなかでも回答が分かれた
低い → 抵抗がある

3) 石田華, 徳岡貴子, 横山繁樹 (2016) : 女子高校生の瘦身願望と食行動, 食農資源経済論集, 67(2), 1-14